

学校だより

かさっ子



平成25年
3月15日
No. 14
文責 中村富英

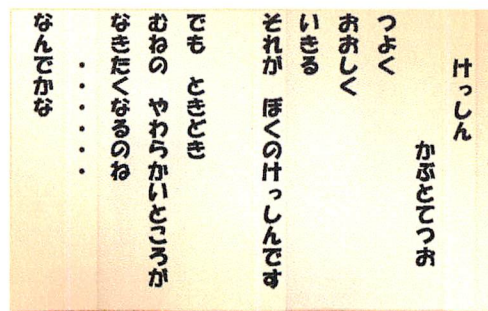
自分で考え 表現できる子どもに成長しました!

10人の子ども達は、毎朝、校長室前にきて元気よくあいさつをしてくれます。その後、壁に貼ってある誌を朗読します。誌は一ヶ月ごとに変え、今月は、工藤直子の「けっしん」という誌です。最初の日には読むだけで精一杯でしたが、何日かたつとすらすら読めるようになりました。それを聞くと「上手になってきたね!」といいます。数日たつと今度は、動作を入れて読むようになりました。

「つよく」の部分は、にぎりこぶしをしながら、「それが ぼくのけっしんです」の部分では、胸をたたきながら、「なきたくなるのね」の部分は泣くように、そして、「.....」の部分はどうか

な?と思っていたら、手でリズムをとりながら点の数だけウ、ウ、ウ、ウ、ウと、最後、「なんでかな」は頭を横にしながら読みました。何も指示していなのに数日間こんな読み方になっていました。読み終わったら、私は拍手して「素晴らしい!上手に読めたね!」と一言、そして、一日がスタートしました。こんな読み方、表現の仕方を考えつくようになったのも、毎日の先生方の指導の成果、子ども達のがんばりだと考えています。

こんな子ども達の姿をみると嬉しくなります。



一年間ご協力ありがとうございました。

三学期だけを振り返ってみても、子ども達は、くしま学カルタ大会にはじまり、青少年の声を聞く会、市生涯学習推進大会での「てべす踊り」披露 等々、たくさん行事をやり遂げてきました。中でも圧巻だったのは「かさっ子たちの学習発表会」でした。10人の子ども達が次から次に一生懸命発表する姿に心打たれました。そしてまた、人のつながりも広がり、日下さん主催の「山羊の研究会」も体育館で実施できました。自治会長さん方にもご協力いただきありがとうございました。参加者の中には遠く京都、神戸、福岡などからもこられていて、この笠祇小学校の美しさに魅了され、そして、何よりも休みにもかかわらず参加してくれた笠祇小の子ども達の素直さに感動されていました。

残り少ない日々を充実することで、来年度へつながっていき、新年度もよいスタートがきれるのではないのでしょうか。最後まで全職員でがんばります。

この一年間、たくさんの行事や教育活動を実施いただきましたが、保護者の方々をはじめ地域の皆様には、お忙しいなかご協力いただき心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

3月・4月の主な行事予定

3月25日(月) 卒業式

26日(火) 修了式

28日(木) 離任式

4月 5日(金) 新任式・始業式

8日(月) 給食開始

12日(金) 入学式

15日(月) 1年生給食開始

23日(火) 家庭訪問

24日(水) 全国学力調査(6年)
県学力調査(5年)

25日(木) お誕生会食

26日(金) 参観日・PTA総会